

三水会会報

北里大学水産学部同窓会会報：第13号

昭和62年3月10日発行

編集者 大野良樹

発行 北里大学水産学部
同窓会

三水会 〒151 東京都渋谷区
事務局 大山町17-17-503
☎ 03(465)6569

振替口座 第一勧業銀行
大手町支店
008-1182388

★三陸の学園生活の今昔と気質 (学生課・井田 齋)

職場紹介

- リクルートから独立して (4F・高島博士)
- アラスカでの筋子作り (6F・堀内岳郎)

* 田中アパートOB会に参加して (5A・上田俊郎)

* 三陸メモリアル杯に参加して (2A・沼田隆善)

▲地引き網

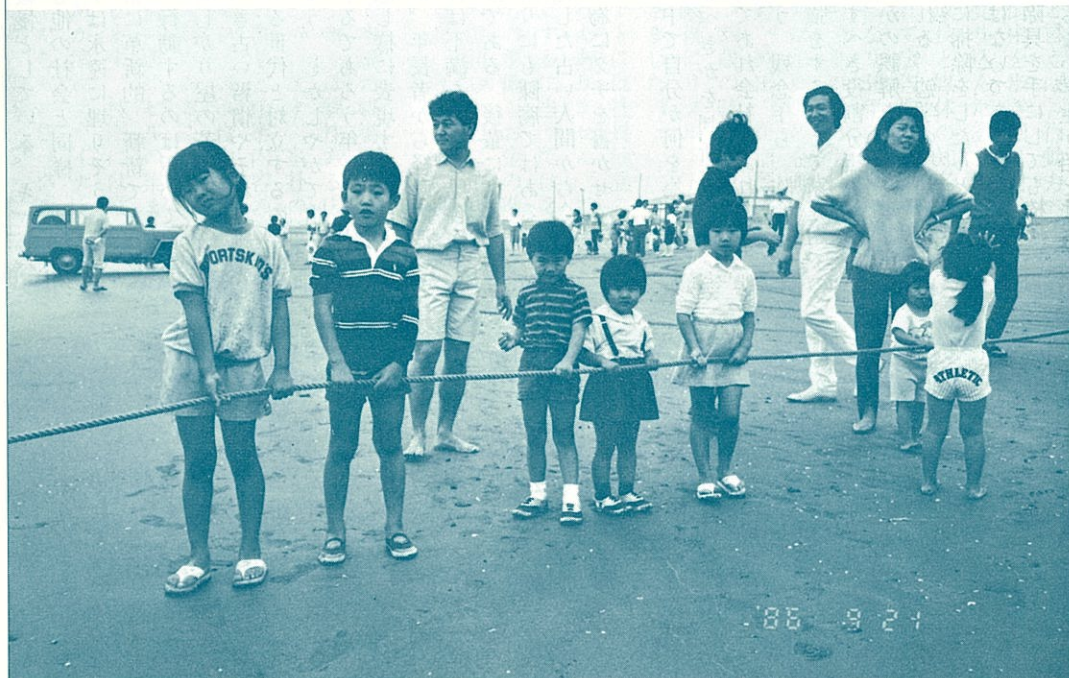
▲第14回漁火祭

▲訃報

▲Let's go すだて

▲Invitation 名簿広告

▲就職ガイダンス参加会社・企業募集



(地引き網で網を引く、三水会ジュニアたち：関連記事P6)

三陸の学園生活の今昔と気質

学生課 井田 齋



三陸キャンパス周辺で学生諸君の生活が始まって以来、早くも十四年が過ぎようとしている。三水会の会員の諸氏の中には既に就学期を迎えたお子さんをお持ちの方々もおられる。今昔などと書くのはやや誇張の感がしないでもないが十年一昔という表現もあるので大袈裟な点は御容赦願いたい。

この間、既に数名の教授の方々が退職され、それに倍する若い先生方が赴任され水産学部もゆっくりではあるが着実に充実されつつある。

キャンパス内での学生諸君の福祉面ではグラウンドの拡大と土質改善、夜間照明設備の新設等、課題が山積している点は一回生諸君の在学時代と殆ど変化がない。研究・教育面ではどうであろうか。第五回生の頃ま

での卒業論文の作成時には一、二台の顕微鏡を奪い合うようにして利用するといった状態がこの研究室で当り前であったと思う。しかし昨今では多くの研究室で機器の整備が進み、研究室によっては顕微鏡などの機器が学生諸君の利用を待っているというような場面も生じている。

一方、キャンパス外ではどうであろうか。国道45号線の三陸峠の登坂車線の新設や、大学周辺の道路の拡大中など道路の整備が進んでいる。又、大船渡や釜石の市内には大型小売店の開店が続き、学生諸君のみならず職員の日常生活にも選択の巾が広がる等の便宜が増えた。更に、昨年に成ってようやく部屋代に相応したアパートが建ち、在籍学生数以上の部屋数が確保された。つまり学生諸君に部屋を選択する余裕が生じた。下宿選びと言った利用する側には当然の行為が十五年目にして実現しようとしている。受け得るべき恩恵は後進がより多いのは世の常とは言え、三年間の学生生活の基礎とも言える下宿やアパートの選択が許されるまでの十四年は余りにも長く感ぜられる。

学生諸君は常に少しずつ交替しているが、教職員の交替はそれに比べ

極めて緩慢としている。キャンパスの中でも他の社会と同様、世代間のギャップは永遠に埋りそうにない。若者は常に革新的、斬新でありたいと思ひ、行動するのは極めて自然である。新しがり屋の若者が打破（修正）すべき古い習慣やそれを維持しようとする世代と対立するのは当然と言えよう。しかしやがて自らも仲間入りするであろう年長の世代を余りにも悪し様に表現するのはどうであろうか。年長者から経験の浅い若者を見れば不満を感じる場合が多いのも当然である。後輩に文句をつけるのは余りにも陳腐ではあるが、敢て化石化した古い人間から今後の学生諸君の為にグチを書かせていただきたい。

組織の中で自分が何を為すべきか、為さざるべきかを判断するのは家庭や学園であれ会社であれ必要な態度であろう。残念乍ら、昨今の学生諸君は勉強をすることで家庭内での子供の為すべき役割分担からの免罪符を得たかの誤解をしているように見受けられる。勉強の場が汚れていたら直ちに掃除をしたらどんなに気が良くはないであろうか。最近では教師が掃除具を手にしても椅子から立ち上がらない学生が殆どである。

興味の無い勉強を強いられるが故に、それを学ぶ振りをすることを無意識に習慣づけてしまふのであろうか。入力したことは忠実に再現するがそれ以上に変型することは無いフロツピーディスクのような人間に面白みはないであろう。集積した情報を如何に整理し、新しい変質した情報にするか、自ら考える習慣が欲しい。研究室では与えられるのを待ちはしても、自ら求める姿勢を示す学生は殆どいない。

渴きを知らない子に水の旨さが判りようがないように、表面的な物の豊かさがそれぞれの物の意義、重要さを忘れさせ、学ぶことを欲する前にそれを強いる家庭環境が勉強への興味を失なわせているのである。戦後の物の貧しい時代の方が昨今の物や情報の溢れる時代より気楽であったと感ずるのは年寄りの僻みと受け取られるだろう。しかし溢れるばかりの物と情報の中から真に自分に必要なものを選ぶのも大変な作業に違いない。最近、私のこの偏見は確信に近いものになりつつある。会員の諸氏の家庭にあつては与え過ぎることなく、自らを全体の中で位置づけが出来るような子弟を育くまれるよう期待したい。

職場紹介

リクルートから独立して

4F 高島博士 (株) ページメイカー 代表取締役社長



元気の良い私



制作部のデザイナーたち

●会社プロフィール

設立 昭和60年4月
資本金 900万円
社員数 26名(62年4月)
年商 2億3千万円(昨年実績)
お取引社数 約300社
所在地 東京都目黒区自由が丘
2-9-15
電話 (03) 725-1633(代)

三陸で生活を共にした旧友の皆様すっかりごぶさたをして申し訳ございません。私「高島」は大変元気に毎日をすごしております。今回は事務局の方より職場紹介と言う依頼がありましたので、この機会に近況報告を兼ねてペンをとります。

仕事の話の前に簡単に大学卒業後の経歴を紹介します。昭和54年に水産学部を卒業後ダイエーグループのスーパーに入社、東京は大田区にある店舗の鮮魚部に配属されました。ところがこのスーパーを2カ月弱で退社。自分が一生の仕事として何をすべきか全く指標のないこの時にた

また、リクルートのアルバイト募集広告が目についたので、「営業」と言う仕事への好奇心も手伝ってさっそう応募した次第です。今でこそリクルートは社員数5千名を超える大企業ですが、当時は千名弱の中堅成長企業。とにかく社内の活気と自由闊達な社風に魅せられてしまったのです。ところで当時は三陸から出てきて半年余り、営業の知識も無ければ株式会社での仕組みも全くわかりません。又、自分の周囲は、東大や早慶卒のいわゆるエリートたちがゴロゴロいる。これには実際いろいろな意味で刺激された訳です。そんな中で私

のとりえと言えば「行動力」！名刺を持って街中を歩き回り自分の企画と名前を売り込んだ訳です。ま、幸い市場の成長と媒体の知名度アップに支えられて広告取得成績ではトップクラスになり55年の11月に念願の正社員登用。その後は主に「就職情報」「とらばーゆ」の企画営業を担当して上野、神田、新宿等の営業所を歴任し、29歳の時点で原宿営業所長代理を最後にリクルートから独立させて頂きました。

リクルートには社員独立の制度などはもちろんありません。ですから会社を設立するに当っては2年余りの準備(心の準備とお金の準備)や各方面への根回しなどに忙殺される毎日でしたが、今では実に良い思い出です。

ところで本論の職場紹介ですが、ページメイカーは個性ある広告代理店を目指しています。当社の特色は働く環境の良さと仕事内容の質の高さです。オフィスは自由が丘、最近若い人に人気のあるこの街でも特にセンスの良い店やビルの集まる中心街に位置します。社内には常にステレオBGMが流れデザイナーやコピーライターたちがリラックスして仕事が出来る場を提供しています。現

在、社員数は20名。今年の4月には大卒4名と専門学校卒2名の計6名が新入社員として入社する予定です。現在の業務内容は①就職情報・とらばーゆ等のリクルート広告の企画制作、②会社案内や営業案内及びパンフレットの制作、③リクルートブックを利用した新卒者の採用企画立案と云ったところです。プラス私自身はリクルート時代の経験を生かして企業への人事採用を主体としたコンサルティングを行っています。そんな訳で、お世話になった北里大学に少しでも御恩返しのため母校水産学部の就職ガイダンスには昨年、一昨年で昨年の8月末に行なった当社の新卒説明会には150名程の学生さんたちが集まって下さいましたが、社長の私が「北里大学水産学部の出身です」と言うとその意外性に皆、随分と驚いた様子。でも実際、あの厳しい環境と恵まれた自然の中でたくわえた英気が今の私のビジネスパワーの根源にあると確信しています。現状、おかげ様で約30社あるリクルート系代理店の中で利益率はトップ。設立5年目には50名位の組織にしたいと燃えている毎日です。北里パワーでが・ん・ば・り・ま・す。



職場紹介

アラスカでの 筋子作り

6F 堀内 岳郎 (ヒミサン食品株 勤務)



当社は新潟で昆布を主に、塩干、魚卵等を扱い、私は、魚卵(タラ子、筋子)を担当で過去三回夏には海外で仕事をしております。

それは主に北米での筋子、数の子の製造で、85、86年はアラスカで筋子の製造をして来ました。

筋子の買付けには「原卵買い」と「製品買い」とがあり、私の担当の原卵買いの工場では、原地で魚から取り出した卵を買い、私共が原地人の労働者を雇って製品にします。各等級別に箱詰にする方法で、どちらかという小さな工場で行われます。予算には買付け代金の他に日本に輸入されるまでのあらゆる費用が含まれます。つまり、塩、箱の材料、クギ、運送費、日本人及び原地人労働者の賃金、食住費等全ての雑費があり、この金銭管理は一切私にまかされ、これは大変な仕事といえます。

現地での一日は八時頃工場に電話

を入れ、その日の魚の搬入予定をきくことに始まり、労働者の人数を予約して私は工場に出ます。そこで、日本人技術者と共に筋子作りです。

卵の選別や箱詰め、製品数を記録し、製品に対する歩留等を商社の現地支店に報告して終りますが、何か問題があれば工場側と話し合ったりするのも私の役目で、これが無ければ仕事は実に簡単なのですが、毎日何らかの問題がおこり、頭を悩ましたものでした。人間関係のイザコザや労働者の人数の件で支店側と技術者の間でモメたり、それらをうまく折合いをつけるのにずい分と気苦労があり、加えて私の英語力の貧しさを痛感し、もう沢山だと思ったことが何度もありました。

特に忙しい期間は睡眠時間三時間という日々が一月近く続き、まして私は報告書の作製、諸費の精算等々の雑事をその日の内に片付けなけ

ればならず、もちろん炊事洗濯もあり、アパートに帰ってもすぐに休む訳にもゆきません。他の人が、夜、酒をのみながら気軽にいろいろ不満等をのべ立てているのを聞き流しながら、なぜ自分だけがこんな思いで子分な仕事までやらされるのかと、会社を恨んだこともしばしばでした。

また、人間関係のイザコザは意外に日本人同志の間のもめ事が多く、これには全くまいりました。前回までの出張ではその度に太っていた私ですが、三度目の今回は、三キロ余りやせて帰ってきました。

毎年がこのくり返しなのですが、アラスカの雄大な自然、日本ではとてい見られない大量の鮭鱒の遡上などが忘れられず、春になると出張を心待ちにしている私です。ちなみに次の出張は二月末にカナダで今度は数の子の仕事と決まりました。それからこんな事を言うのは少し恥ず

かしいのですが、海外での仕事を機に、私自身の仕事に対する自覚が前向きに変わって来た事に気付きました。そして帰国後、自分の作った筋子が好評で買手から追加注文が来たりすると、つらかった事は全部忘れ、新たななファイトさえ湧いて来ます。皆様も輸入筋子を食べる時等、私共の苦勞のいくらかでも思い出していただけたら幸と思います。

最後になりましたが、現地で心温まる思いをしたのは何といても同窓の方々には会えた事でした。85年のアラスカでは六回生の真水君、八回生の岡田君と会い、86年には九回生の畠山君と会い、共に魚釣りなど出来、忘れられない思い出となりました。友達、同窓の絆のすばらしさにあらためて感謝している次第です。



〈田中アパートOB会〉に参加して

5A 上田 俊郎（そこう神戸店勤務）



早いもので、三陸の地を離れ、すでに七年近くにもなり、なつかしく思っておりました所、前号の「田中アパートOB会」の記事が目にとまり、久しぶりに仲間の顔を見たく、神戸より参加させていただきました。当日は、東京新宿の、銀座アスター新宿賓館におきまして、二、五期生、東は新潟、栃木、西は名古屋、神戸より、二十名弱の参加者を得て盛大に行なわれました。

青春の大きな一ページであった田中アパート、そして三陸での思い出や、現在の仕事や生活の事など、予定の時間をはるかにオーバーして、飲み、話に花を咲せ、旧交を深めたのでした。そして、今後も「田中アパートOB会」を、続け広げようと、次回の世話係を決め、なごりおいしい中、無事におひらきとなりました。私にとりましても、同じ屋根の下で暮した者同志、昔や将来の事などいろいろ語りあかせた事は、楽しくもあり、有意義でもありました。なお、今回の世話係を勤められました、長谷川理事を始めとされる諸氏に、感謝いたします。

〈三陸メモリアル杯〉に参加して

2A 沼田 隆善（江東微生物研究所勤務）



昭和六十一年十月十日、体育の日第三回三陸メモリアル杯が茨城県常陸太田市にあるグラントスラムカントリークラブにおいて開催されました。この日は快晴で、絶好のゴルフ日和でした。午前九時のスタートにあわせ、埼玉県在住の私は、午前四時に起床しゴルフ場へ向かいました。途中仲間を拾ってスムーズにゴルフ場へ到着の予定でしたが、八王子のT君が前日の深酒がたまって一時間の遅刻、時間に急ぎ立てられての参加になってしまいました。参加メンバーの中には徳島県のN君や名古屋のY君もあり、十一名のメンバー全員が久しぶりの再会し大変楽しい一日を過ごしました。グラントスラムカントリークラブは大変眺めの良いゴルフ場ですが、ゴルフはまだ駆け出しの私はこの素晴らしいコースをゆっくり眺める余裕はなく、自分の意に反してボールはあつちこちに飛んで転がって行き、ボールに振り回され地面ばかりが記憶に残っている始末ですが、まぐれによる快心の一

打もあり楽しくコースを回りました。こうして何とかホールアウトをし、新ベリア方式によりスコアの集計をしたところ、何と前日深酒のT君が優勝をさらっていきましました。やはり宿酔で力みが取れ実力を充分発揮できなかったのが勝因でしょうか。私はスコアは当然よくありませんでしたが、新ベリア方式のおかげで四位になりおしくも三位入賞をのがしてしまいました。表彰式を兼ねた懇親会で各自のハンデキャップや次回（昭和六十二年）の開催と幹事を決めお開きとなりました。現在この三陸メモリアル杯は二期生が主体となつて開催しておりますが、今後は幅広い卒業生の皆様の参加を希望しております。青空の下、ゴルフの上手下手に関係なく大いに楽しみたいと思いますので奮っての参加を希望しております。今年度の幹事は2Fの前田利光ですので御一報くださるよう、よろしく願いたします。

同期会助成のお知らせ

水産学部卒業生が10人集まると、10,000円の助成金が出ます。卒業生間の交友を深める為にお役立て下さい。希望者は、開催日、出席者氏名、目的をご連絡下さい。代表者宛に助成金をお送りいたします♡

一昨年の秋に続いて昨年も三水会親睦会が行なわれました。

季節は秋、暑さも一段落した9月21日の日曜日。

海で魚と遊びながら家族サーブिसも出来るという安全、かつとても楽しい地引き網を千葉県は九十九里での開催を企画しましたが、おりからの台風シーズン、加えて雨男の私も参加するという事態は、一週間前からの天気予報観察、神棚への手合わせにもかかわらず、しつかり雨の一日となってしまった。

昭和61年度関東地区懇親会

地引き網

(表紙・写真)

朝、9時の必着へ向けて、京葉道路を走り、東金有料へと進路を変えた頃には雨も止み、うっすらと日がさす陽気にまで回復しましたが、東金に着くと雲が低くたれこめ、いまにも雨が降ってきそう。さらには、三陸の暗い海を思い浮かべていたら地図が少々わかりづらく、九十九里波乗り道路に進入し、目的地の「仙(網元)」を横目に出口探しに一苦労。ところが、「仙に着くと、なんとびつくり大盛況。総勢127名の大所帯にふくれあがって、がきんちもわん

さかいて大騒ぎ。幹事の予想をあっさり越えた気分はもう三陸時代。

そんな中で、一番最初に、網引きをさせていただき、奥さんやお子さんも次々と浜に出てこられ、なごやかな雰囲気の中で網を引くこと40分足らずで、小さな鯛と極少の鰯が樽に二杯程取れました。

海の家へ戻ると、パンフレットのうたい文句通り、その場作りで食べ放題。鯛や鰯はフライや酢味噌合えとなり、大きな舟盛りの刺身が色どりを添え、鬼のように食べる三水会諸氏の食欲に十分答えたメニューでありました。

早くに結婚された先輩のお子さんはすでに小学生。二児、三児の父や母になられた方も。又、外国の方と一緒にいられた先輩もみられ、インターナショナルとなった三水会は、今回の親睦会を行うべきか、会費は今回の様な低額(大人・千円、小人・無料、残りを三水会が補助)でよいかなどのアンケートも行ない、大成功のうちに記念写真撮影となりました。

雄大な九十九里を背に、今回の親睦会が又一つ大きな輪を作ってくれた様に感じられ、幹事一同、非常に幸せでした。

(文・中村)

第14回

漁火祭



去る十月十八、十九の両日、第十四回漁火祭が開催されました。例年になく厳しい冷え込みの中で、十八日の大漁踊りを皮切りに二日間、事故もなく無事に漁火祭を終える事が出来ました。

さて、その二日間を振り返ってみると、十八日の大漁踊りはTVなど

しかし、何も問題がなかった訳ではないのです。宮古や遠野方面からの参加者があったのに一般学生の参加があまりなかったのは残念な事です。学生の内にしか学園祭は参加出来ないといっても過言ではありません。

最後に今年のテーマ「やるっきゃ

の前宣伝があつたためか、釜石、大船渡でたくさんの人を集めPR効果は大変上がった様に思いました。また、十九日の本祭では、前日の宣伝が効果を上げてここ数年見られなかった程の参加者があつた上、午後には品切れの模擬店が出る程の大盛況のうちに幕を閉じる事が出来ました。

やります'86」を参加してくださった方はどう感じたでしょうか。ここで感じた事を将来に生かしてもらえれば幸いです。そして漁火祭に参加していただいた方々、御協力していただいた方々に深く感謝の意を表します。

日下兵爾先生の御逝去にあたり、謹しんで御冥福をお祈り申し上げます。

日下兵爾先生は、昭和62年2月18日午後4時7分、入院先の岩手県立磐井病院に於いて、肝硬変のため亡くされました。享年48歳でした。

日下先生は昭和49年4月1日に水産利用学助手として水産学部にて赴任され、昭和53年10月1日より水産利用学講師として研究・教育に勤しまれますとともに、教職課程を担当され、教員養成にお骨折り下さいました。また、近年は図書館長代理として、図書館の機能の充実にご尽力下さいました。

ここに、水産学部同窓生一同になりかわり、日下先生の生前の御精勤に深く感謝いたしますとともに、謹しんで御冥福をお祈り申し上げます。

三水会会長 長屋 信博

Invitation

名簿広告

名簿発行に伴う広告募集

三水会では、来年3月発行予定の会員名簿作成に伴い、会員の皆様より広告を募集しております。

皆様の活躍振りをご紹介する意味も含めまして、ご協力の程、何卒宜しくお願いいたします。

一、広告料 半頁(150×110mm) 一五、〇〇〇円
二、原稿 原稿、図案についての制限はありませんが、氏名・卒業期科を入れること(一色刷)

三、切 昭和62年12月末日

四、送り先 〒151東京都渋谷区大山町17の17の503

及び 北里大学三水会

問合せ

☎ 03(465) 6569

Let's Go

すだて

昭和62年度 関東地区 懇親会

今年度の関東地区懇親会は、一昨年大好評を博しました賛立て網に決定しました。

関東地区在住の三水会会員の皆様には、7月上旬までに案内状発送の予定です。どうぞ、皆様、奮ってご参加下さい。

開催日 昭和62年8月9日(日曜)

場所 千葉県 金田海岸

就職ガイダンス

参加会社・企業募集

来年度、水産学部卒業生を募集予定の会社、企業はお知らせ下さい。

5月に三水会主催の就職ガイダンス(三陸校舎にて)を予定しております。

この企画は、就職活動において地利的不条件にある、我が水産学部学生に対し、より円滑な就職活動をはかるために一昨年より行なっている

ものです。

又、一括してのガイダンスは、より多くの学生を対象とすることができま

す。若い卒業生も中堅の卒業生も、さつそく人事課へお問合せの上、事務局までご連絡下さい。

卒業生のパワーをお待ちしております。

昭和62年度三水会定期総会

並びに講演会

5月24日(日)決定!!

三水会定期総会を白金校舎にて開催いたします。

開催日 5月24日(日)

総会 11時~12時

講演会 13時~14時

懇親会 14時30分

クラブのOB会、研究室のOB会、

先生)

同期会を兼ねて、是非、ご参加下さい。代議員及び関東地区会員の方には、追ってご連絡いたしますが、その他の地区の方々も、上京の折、お気軽にご参加いただければ幸いです。

事務局だより

♥企画募集

三水会は、年二回(3月と9月)に会報を発行しています。

OB会、クラス会、コンペ等催物の企画がありましたらお知らせ下さい。

紙面にて卒業生にご連絡いたします。

又、ご希望、ご要望がございましたらどんなお知らせ下さい。

お待ちしております。

◆変更届

住所、氏名、勤務先に変更のある方は、事務局までご一報下さい。

ご家族の方による変更も受けておりますので、お気軽にご連絡下さい。



◆編集後記◆

三水会会報もはや第十三号の発行を迎えました。

話しは少し違いますが、街では円高の影響で日本経済は根底から産業構造の変化をおこしていることをニュースは伝えていきます。まさに戦後の日本経済が経験したことがないこととです。

今回の寄稿は、井田先生に、「三陸の学園生活の今昔と気質」というテーマでまた職場紹介を4Fの高島博士氏と6Fの堀内岳郎の各氏にお願いたしました。

その寄稿の中で井田先生は、現在の三陸学生気質に触れられ、その中で「最近教師が掃除具を手にしても椅子から学生が立ち上がろうともしない……」と書かれています。

小生にも頭の痛い話でもあります。また思い当たる話もあります。気質は、今までの日本経済繁栄のおとしごでは、*!!*と思いつつ三陸で学んだ過去を思い出しました。

また職場紹介ではリクルートから独立した高島博士氏、アラスカで筋子作りの堀内岳郎氏を紹介しました。これからの健闘を祈ります。

最後に六十二年度に行なわれる関東地区懇親会・名簿発行に伴う広告募集等の協力を伝え、編集後記の筆を置きます。(S)